

四万十市 | 井沢・古津賀の各一部

打合せ経費

名称	規格	員数	単位	単価	金額	備考
測量主任技師		1.5	回			着手・中間・最終
測量技師		1	回			着手・最終
測量技師補		0.5	回			中間
合計	(人件費)					

打合せ経費計上額 \_\_\_\_\_ 円

作業区分の変化率の算定【井沢・古津賀の各一部】

実施面積	:	0.12 km <sup>2</sup>		※表〇-〇は地籍調査事業費積算基準書より
一筆平均面積	:	930 m <sup>2</sup> (調査前)		
	:	1,200 m <sup>2</sup> (調査後)		
縮尺	:	1/1000	視通条件	: 山Ⅱ
精度	:	乙1	筆の形状	: 不整形
傾斜条件	:	緩傾斜	計画区からの距離	: 3.0 km

変化率の算定

$$FⅡ-2工程 = \left( \frac{\gamma_{FⅡ-2}}{\gamma_{FⅡ-2}} \right) \times \text{実施面積} = 1.32 \quad \text{表1-20}$$

$$= \left( \frac{1.32}{0.16} \right) \times 0.12$$

$$G工程 = \left( \frac{\gamma_G}{\gamma_G} \right) \times \text{実施面積} = 1.32 \quad \text{表1-20}$$

$$= \left( \frac{1.32}{0.16} \right) \times 0.12$$

$$H1工程 = \left( \frac{\gamma_H}{\gamma_H} \right) \times \text{実施面積} = 1.00 \quad \text{表1-20}$$

$$= \left( \frac{1}{0.12} \right) \times 0.12$$

H工程

$$\text{複図枚数} = \frac{\text{標準枚数}}{\text{標準枚数}} \times \text{実施面積} \times 2 \quad (\text{2部作製するため※1}) \quad \text{表1-8}$$

$$= \frac{21}{2.52} \times 0.12 = 3 \text{ 枚}$$

$$= \frac{3}{2} = 6$$

$$\text{複図費} = \left( \frac{\text{工程基準額}}{\text{工程基準額}} \div \frac{100}{100} \right) \times \text{複図枚数} = 0$$

※2

H2工程(閲覧)の歩掛について

積算基準書では技師・技師補・助手の上限が20であるが、以下のとおりとする。

○技師・技師補

閲覧期間20日間の内、14日(内休日1日以上)は、技師・技師補を配置すること。

○助手

閲覧開始から7日間は助手を配置すること。

※1 H工程複図2部について

登記所保管用と税務課保管用の2部とする。

(地籍調査作業規程準則第89条第2項及び地籍調査関係通達昭和48年3月20日付け経済企画庁総合開発局国土調査課長指示 による)

※2 100円未満切り捨て